

第4章 ポーランド侵攻・占領とユダヤ人迫害 一九三九年九月～一九四一年六月

119

はじめに 120

1. 奇襲攻撃・電撃的制圧とポーランド人指導者層の殲滅 122
 2. 総督府統治と保留地構想段階の追放——一九四〇年春まで 133
 3. 対英仏戦争と追放・ゲットー化強行——一九四一年春まで 149
 4. 全般的衰弱・大量餓死への道 155
- 小括——対ソ戦勝利の展望と新たな追放構想 160

第5章 ソ連征服政策とユダヤ人大量射殺拡大過程

——占領初期一九四一年六月～九月を中心に

165

はじめに 166

1. ヒトラーの「絶滅戦争」とは何を意味するか 167
2. 独ソ戦初期のユダヤ人の犠牲——概観 176
3. 歴史的前提——ロシア史とソ連時代のユダヤ人 179
4. ソ連征服戦争の準備とユダヤ人の位置づけ 190

5. 奇襲攻撃・軍後方地域拡大・激戦化と焦眉の治安確立課題 198
- 小括 217

第6章 シュダヤ人問題の最終解決

——世界大戦・総力戦とラインハルト作戦

219

はじめに 220

1. 独ソ戦下総督府ポーランドの全体状況 225
2. 体系的大量殺害への道 231
3. 臨界状況の総督府と一九四一年一月中旬の根本的転換 237
4. 総督フランクの閣議総括演説——「ドイツ民族防衛のため」のユダヤ人殺戮 243
5. 世界大戦・総力戦の死闘とヴァンゼー会議 247
6. ラインハルト作戦の段階的急進化 252

(1) 大量殺害の第二段階一九四二年三月から六月 252

——春・夏の総攻撃の総体的力学のなかで

(2) 大量殺害の第二段階一九四二年七月から一二月 263

——スターリングラード攻防戦の総体的力学のなかで